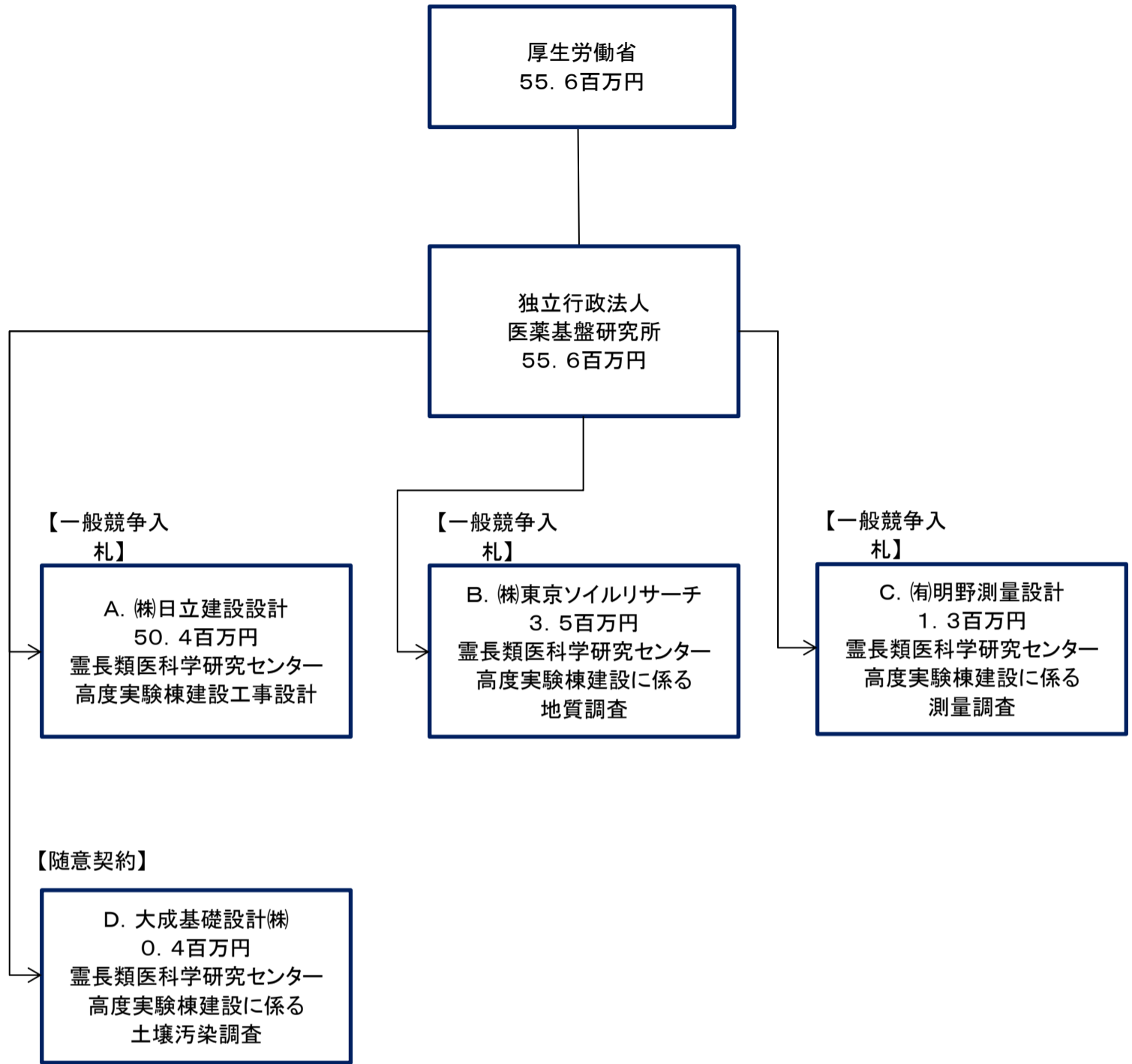


行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	独立行政法人医薬基盤研究所施設整備費補助金 (生物資源研究)		担当部局庁	独立行政法人医薬基盤研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度		担当課室	総務部		渡部範夫		
会計区分	一般会計		施策名	「新成長戦略」、「第3期科学技術基本計画」、「革新的医薬品医療機器創設のための5カ年戦略」				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人通則法 独立行政法人医薬基盤研究所法		関係する計画、通知等	独立行政法人医薬基盤研究所中期目標 独立行政法人医薬基盤研究所中期計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	研究開発独立行政法人として、国の政策課題の解決に向けて組織的に研究開発に取り組むこととしており、より有効で安全な医薬品、医療機器の開発を支援する法人として、①医薬品等の基盤的技術研究 ②生物資源研究 ③医薬品等の研究開発振興 の3つの事業を行い、民間企業、大学等における新たな医薬品・医療機器の開発を目指した研究開発を支援している。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	霊長類医科学研究センターの老朽化した施設及び機器設備の更新並びに薬用植物資源センターにおいて被災した設備の更新を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	241		
		繰越し等	0	0	0	—		
		計	273	262	175	1,130	1,900	
	執行額	273	262	56				
	執行率 (%)	100	100	32				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)
	施設の整備のための経費であることから、定量的な成果指標を示すことができない。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	施設の整備のための経費であることから、定量的な活動指標を示すことができない。		活動実績 (当初見込み)	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	
単位当たりコスト	56(百万円/施設)		算出根拠	56百万円/施設				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	工事費	889	1,900	・霊長類医科学研究センター高度実験棟建設工事に係る経費であり、前金払い(平成23年度)、中間払い(平成24年度)、竣工払い(平成25年度)と工事の進捗によって支出金額が変化するため 1,743百万円 ・東日本大震災復興関連事業 薬用植物自家発電設備 157百万円				
計	889	1,900						

	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	△	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	随意契約が行われている土壌汚染調査については、少額であることから見積比較により競争が行われている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・霊長類医科学研究センターの整備は、平成23年度から3年計画で予算化され工事の進捗に伴い増額されたものである。また、平成24年度予算には、薬用植物資源研究センターの震災で被災した自家発電設備の整備に必要な予算となっている。 ・工事の調達は、一般競争入札が行われて、競争性が確保されている。 ・平成22年度の不用理由は、予定していた金額と比較し、低く抑えることができたためであり、翌年度以降の予算に反映されている。 		
予算監視・効率化チームの所見			
現状どおり	<p>本事業は、必要性や執行の観点からも概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているかについて補
足する)(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)日立建設設計			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
設計費	霊長類医学研究センター高度実験棟建設工事設計	50.4			
計		50.4	計		0
B.(株)東京ソイルリサーチ			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	霊長類医学研究センター高度実験棟建設に係る地質調査	3.5			
計		3.5	計		0
C.(有)明野測量調査			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	霊長類医学研究センター高度実験棟建設に係る測量調査	1.3			
計		1.3	計		0
D.大成基礎設計(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	霊長類医学研究センター高度実験棟建設に係る土壌汚染調査	0.4			
計		0.4	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立建設設計	霊長類医科学研究センター高度実験棟建設工事設計	50.4	5	60.4
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)東京ソイルリサーチ	霊長類医科学研究センター高度実験棟建設に係る地質調査	3.5	3	93.2
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)明野測量設計	霊長類医科学研究センター高度実験棟建設に係る測量調査	1.3	3	55.6
2					
3					
4					
5					

支出先上位10者リスト

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大成基礎設計(株)	霊長類医科学研究センター高度実験棟建設に係る土壌汚染調査	0.4	随意契約	
2					
3					
4					
5					